

# 生きがいの機会を創出し 生きがいの再発見を！

移住定住の支援策について  
本市の移住定住支援策の関係人口を増やしていくことは、本市の大重要な部分であり、関係性を重要視することが大きな定住への道とつながると思うが、どのような方向性をお持ちなのか。

「『強い』経済と『豊かな』生活環境の基盤に支えられる多様性の好循環が『新しい日本・楽しい日本』を創る」と掲げられ、「安心して働き、暮らせる地方の生活環境の創生」や、「人や企業の地方分散」といった政策の5本柱が設定されたところである。

本市においても、今後の国の方針を注視するとともに、現在、改定を進めている、「第3期まち・ひと・しづか基本構想」が閣議決定され、目指す姿として、

ごと創生総合戦略」に「地方創生2・0基本構想」の考え方を取り入れ、若者世代の移住促進や関係人口の拡大につながる新規施策を立案・実施することによって、将来にわたり活力ある持続可能な地域社会の構築を目指していく。

見をしているケースが見られるが、一方で参加者の固定化、つまり学びたい方は積極的でまったく興味を示さない方と両極端になっている現状の中、今後の人生100年時代への本市の目指すべき姿についてお伺いしたい。

の育成・養成を推進するとともに、高齢者が学び続けられる場を提供していく。

今後も、本市の高齢者の方に「結城に住んでいて良かつた。」と言つていただけるよう、自分らしく生活を続けられ、生きがいのある生活及びQOL（生活の質）の向上につながるよう努めていく。

## 古いを生きるための 学ぶ機会について

市長 高齢者が住み慣れた地域で自立した生活が維持できるよう、介護予防に関する知識の普及・啓発、地域における自主的な活動の支援と担い手

QOL（生活の質）の向上につながるよう努めていく。



市長 国において、令和7年6月に「地方創生2・0基本構想」が閣議決定され、目指す姿として、

本市においても、今後の動向を注視するとともに、「第3期まち・ひと・しづか

様々な学びの大きな効果として、生きがいの再発



## 結和会

大橋 康則 議員（質問者）  
平塚 明 議員  
沼田 育男 議員  
館野 徹弥 議員  
伊藤 英雄 議員

政策は市民を巻き込んで！



録画映像  
はこちら

